

臨時交付金活用で、ゆうゆうバス・障がい者入院食費助成など継続すべき

地域活性化のためとして、「経済対策に2億100万円、公共事業の地方負担9割相当」が交付されること

国の平成21年年度の補正予算で、市町村に臨時交付金が措置されることになりました。(資料3)

市は交付金の活用について、緊急・必然性ある事業の予算化を考えています。プランでは、学校耐震化事業費として約5億2600万円をあげていますが、耐震診断費用については経済危機対策交付金を100%活用できません。また、22億円が見込まれている学校耐震工事総事業費についても、公共投資交付金を活用すれば市負担分は大幅に軽減されることとなります。日本共産党は、交付金で生まれた財源を使い、ゆうゆうバス・障がい者入院食費助成・就学援助制度などの継続を要望しました。

資料3 地域活性化対策臨時交付金の概要

経済対策交付金	公共投資交付金
・ 少子高齢化への対応 ・ 駅のバリアフリー化推進 ・ 地球温暖化対策 など	・ 学校の耐震化工事などの公共事業
2億100万円	地方負担分9割相当額



## 「星田駅前パチンコ店出店に反対する会」 40,919名の署名を提出!

**市民の半数が反対署名**  
市条例違反の星田駅前パチンコ店建設について、「出店に反対する会」は、6月23日までに、パチンコ店の建設差し止めを求める40,919名の署名を市議会に提出しました。  
市議会は、7月2日、大阪府と公安委員会に対し、建築・営業の中止を求める要請を行いました。

### 交野市が建設主を刑事告発

市の建築中止命令等に、建築主は全く応じようとしないため、交野市は、6月25日、建築主を刑事告発しました。枚方



警察署はこれを受理し、捜査を行っています。  
なお、刑事告発は、罰金の支払い等を求めるものであり、建設を中止させる強制力はありません。さらに建設中止を求める提訴について、市は「顧問弁護士と相談しながら検討していきたい」としています。

## 6月議会

### 放課後児童会の拡充を

さらがいふみ議員が要望

放課後児童会の入会数が増加し、待機児童が増えていきます。日本共産党のさらがい議員は、大規模児童会の分割と施設の拡充を計画的にすすめ、特に低学年の待機児童の対策を急ぐよう求めました。

【質問】小学校の児童数が微減するなか、放課後児童会の入会数は増加し、全児童の約2割が入会している。待機児童の状況は。

【答弁】一月中旬の一斉受付期間中の申し込みは全員受け入れている。その後は、基準の定員を超えていれば待機となる。現在、全体で9名(うち5名が一年生)が待機している。

【質問】一斉受付期間後も、市外からの転入など様々な事情で入会が必要となる。特に、低学年の待機児童の対策をどうすすめるのか。

【答弁】教室の環境整備や指導員の確保について検討しながら、柔軟に対応していく。

【質問】国は、学童保育の適正規模は40人程度とし、来年度から71人以上の大規模児童会の補助金を打ち切る方針である。市は大規模な児童会の分割や施設の拡充をどうすすめていくのか。

【答弁】平成18年度以降、交野児童会を増設し、倉治児童会、長宝寺児童会で教室数を増やした。今後とも適正規模での運営

と待機児童の解消に努めていきたい。

【要望】特に、妙見坂児童会は、星田小学校からの校区変更で児童数が増えている。施設の拡充を早急に検討してほしい。

放課後児童会の在籍数(人)

2009年6月8日現在

児童会名	定員	在籍数	待機
交野	80	70	
交野分室	40	41	
星田	40	52	3
郡津	50	72	
郡津分室	40	32	
岩船	40	45	
倉治	40	77	
妙見坂	40	57	1
長宝寺	40	55	
旭	65	72	2
藤が尾	40	52	2
私市	40	51	1
合計	555	676	9

